

# 教 育 長 あ い さ つ

## 一人一人の個性と可能性を伸ばす教育をめざして ～子供たちと先生の笑顔のために～



千葉県教育委員会教育長 とみづか 富塚 まさこ 昌子

### 1 はじめに

令和6年度がスタートしました。この3年間に、学校訪問や各校長会の役員の先生方及びPTAの皆様との懇談、若手や中堅の先生方との意見交換等を通して、学校現場の声を直接聞くよう努めてきました。

また、多くの先生方の御協力を賜り、各種実態調査等を実施し、学校の課題を客観的にとらえ、可視化することも試みました。

それらを踏まえ、今年度は、教員志願者確保や業務負担軽減のための新規事業に取り組むとともに、不登校児童生徒の教育機会の確保や系統的なキャリア教育の推進に係る事業の充実等を図ることとしました。

その結果、県の一般会計当初予算全体に対する教育費の割合は18%と、分野別では最も高くなりました。また、教育費のうち人件費以外の、いわゆる事業費の額は昨年度の約1.4倍、令和4年度と比べると約1.6倍になっています。

知事や県議会の御理解を得て確保した予算を有効に活用し、教職員が「働きがい」と「働きやすさ」を感じることでできる環境整備を進め、子供たちが安心して学び、将来に向けて可能性を広げていけるよう、精一杯努めてまいります。

### 2 令和6年度の主な取組

今年度の取組の一部を紹介いたします。

### ○第4期千葉県教育振興基本計画の策定

現行の第3期計画が今年度で計画期間満了となることから、次期計画の策定に向けて、教育界、産業界、保護者の代表等による有識者会議を立ち上げ、本県教育をめぐる現状や課題を整理した上で、目指すべき方向性等について、それぞれの専門の立場から意見を伺っています。


今後は、教育現場の先生方や教員を目指す学生などからも意見を伺い、来年3月を目途に新たな計画の策定を進めてまいります。

### ○優れた教員の確保と業務の負担軽減

令和6年度も募集定員以上の新規採用者を確保し、さらに全国初の取組として、本県の小・中・特別支援学校の教員として採用された方のうち、要件を満たす方全員の日本学生支援機構第一種奨学金返還を支援します。また、県内全ての小・中学校にスクール・サポート・スタッフを配置できるよう予算を確保したほか、新たに副校長・教頭の業務を支援する人材を配置します。あわせて、学校事務職員の負担軽減に向けて各種事務手続きのシステム化にも着手し、人材の確保と負担軽減に一層取り組んでまいります。

### ○児童生徒の支援体制の強化

昨年度実施した不登校児童生徒と保護者を対象とする実態調査の中で、学校に行きづらい要因の1つとして、学習の遅れや不安があることが明らかになりました。そこで、不登



校等の中学生を対象に、5教科の授業配信を6月より開始しました。また、フリースクールと学校等との協力体制の構築に向けたモデル事業を実施します。

さらに、不登校に限らず、子供や家庭を取り巻く様々な問題解決に向けた支援を行うスクールソーシャルワーカーを10名増員するとともに、プッシュ型で支援を行う実証事業を県内5つの中学校区で実施するなど、児童生徒への支援体制の強化に取り組んでまいります。

### ○特別支援教育の充実

特別支援学校の過密解消に向けて、第3次県立特別支援学校整備計画に基づき、地元市等との連携のもとで、千葉市・浦安市・君津市において3校の整備を進めます。加えて、県立松戸及び印旛特別支援学校において校舎の増築等に着手します。

また、医療的ケア児の通学支援事業をモデル的に実施するほか、県立高校での通級による指導のニーズに応えるため、新たに2校で巡回による指導を開始し、あわせて専門知識を持つ民間事業者との連携により個々の障害特性に応じた支援や指導の充実を図ります。

### ○学力向上への取組・系統的なキャリア教育の推進

令和4年度から千葉県独自の取組として、専門的な教科指導の充実や質の高い授業づくりを行うため、小学校に算数・理科・体育・図画工作の専科非常勤講師等を配置しています。配置校からは好評を得ており、本年度も配置を拡充しました。

また、キャリア教育については、昨年度実施した中高生や大学生等のキャリア意識調査の結果も踏まえて、高校生を対象に実施して

いたキャリアデザインの考え方などを学ぶモデル事業を新たに中学校でも実施するなど、中学・高校の段階から、社会で働くことや様々な職業への関心を高め、将来への目標を持って広い視野で進路を選択できるよう取り組んでまいります。

### ○魅力ある県立高校づくり

令和4年10月に策定した「県立高校改革推進プラン・第1次実施プログラム」で示した県立高校16校での新コースの設置等の取組が、4月からスタートしています。

具体的には、千葉商業高校の起業家育成に関するコースや袖ヶ浦高校の先進ITコース等の新たな価値を生み出す人材育成に向けたコースの新設、成東高校や鎌ヶ谷西高校等への教員基礎コースや保育基礎コースの設置、福祉教育コンソーシアムの大学や企業等との連携組織の充実等があります。

また、今年度も、県立高校が地域の複数の高校や企業・地元地域と連携・協働して学校の魅力を発信する「学校提案型魅力発信事業」を実施するほか、「専門学科を体験しよう事業」を拡充します。この取組では、専門学科や特色あるコースを設置する県立高校の教員や生徒が、近隣の小・中学校で、専門学科等の学習を体験する授業等を実施することにより、専門学科の学びの魅力を伝え、児童生徒の関心を高めます。

県立高校と地元自治体や地域の小・中学校との連携により、高校と地域の双方の魅力向上が図れるよう、引き続き御協力をお願いいたします。